



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

全体実施設計

駅館川地区事業計画書（案）とりまとめ業務

積算書

（当初）

九州農政局
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名	全体実施設計					
業務名	駅館川地区事業計画書(案)とりまとめ業務					
業務別業務名	設計業務					
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単-1号 ***					
S63003	1-1.資料の検討		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師		1,000	人	66,900	66,900
R04004	技師(A)		2,000	人	59,600	119,200
R04005	技師(B)		2,000	人	48,500	97,000
R04006	技師(C)		3,000	人	40,300	120,900
R04007	技術員		3,000	人	36,100	108,300
	合計					算出数量 1,000 式
	単価			式		512,300
	*** S単-2号 ***					
S63003	2.土地改良事業計画書(案)の更新		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	10.00人				
	5)技師Bの人数	20.00人				
	6)技師Cの人数	15.00人				
	7)技術員の人数	15.00人				
R04003	主任技師		2,000	人	66,900	133,800
R04004	技師(A)		10,000	人	59,600	596,000
R04005	技師(B)		20,000	人	48,500	970,000
R04006	技師(C)		15,000	人	40,300	604,500
R04007	技術員		15,000	人	36,100	541,500
	合計					算出数量 1,000 式
	単価			式		2,845,800
	*** S単-3号 ***					
S63003	3.土地改良事業計画概要書の作成		式		1,000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	1.50人				
	7)技術員の人数	1.50人				
R04003	主任技師		1,000	人	66,900	66,900
R04004	技師(A)		2,000	人	59,600	119,200
R04005	技師(B)		2,000	人	48,500	97,000
R04006	技師(C)		1,500	人	40,300	60,450
R04007	技術員		1,500	人	36,100	54,150
	合計					算出数量 1,000 式
	単価					397,700

事業名	全体実施設計
業務名	駅館川地区事業計画書(案)とりまとめ業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		式		397,700	
	*** S単- 4号 ***					
S63003	4. 施設の予定管理方法等の作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04005	技師 (B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師 (C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	2.000	人	36,100	72,200	
	合 計				316,700	算出数量 1,000 式
	単 価		式		316,700	
	*** S単- 5号 ***					
S63003	5-1. 全体実施設計書の作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	4.00人				
	5)技師Bの人数	7.00人				
	6)技師Cの人数	10.00人				
	7)技術員の人数	12.00人				
R04003	主任技師	3.000	人	66,900	200,700	
R04004	技師 (A)	4.000	人	59,600	238,400	
R04005	技師 (B)	7.000	人	48,500	339,500	
R04006	技師 (C)	10.000	人	40,300	403,000	
R04007	技術員	12.000	人	36,100	433,200	
	合 計				1,614,800	算出数量 1,000 式
	単 価		式		1,614,800	
	*** S単- 6号 ***					
S63003	5-2. 全体実施設計書添付資料の作成		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	5.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	15.00人				
	5)技師Bの人数	25.00人				
	6)技師Cの人数	35.00人				
	7)技術員の人数	35.00人				
R04003	主任技師	5.000	人	66,900	334,500	
R04004	技師 (A)	15.000	人	59,600	894,000	
R04005	技師 (B)	25.000	人	48,500	1,212,500	
R04006	技師 (C)	35.000	人	40,300	1,410,500	
R04007	技術員	35.000	人	36,100	1,263,500	

事業名	全体実施設計					
業務名	駅館川地区事業計画書(案)とりまとめ業務					
業務別業務名:設計業務						
コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計				5,115,000	算出数量 1.000 式
	単価		式		5,115,000	
	*** S単- 7号 ***					
S63003	6.業務照査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	0.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の数	0.00人				
R04003	主任技師	2.500	人	66,900	167,250	
	合計				167,250	算出数量 1.000 式
	単価		式		167,250	
	*** S単- 8号 ***					
S63003	7.点検とりまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	2.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	3.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の数	3.00人				
R04003	主任技師	2.000	人	66,900	133,800	
R04004	技師(A)	3.000	人	59,600	178,800	
R04005	技師(B)	3.000	人	48,500	145,500	
R04006	技師(C)	3.000	人	40,300	120,900	
R04007	技術員	3.000	人	36,100	108,300	
	合計				687,300	算出数量 1.000 式
	単価		式		687,300	
	*** S単- 9号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.6日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.600日				
R04003	主任技師	1.100	人	66,900	73,590	
R04004	技師(A)	1.100	人	59,600	65,560	
	合計				139,150	算出数量 1.000 回
	単価		回		139,150	
	*** S単- 10号 ***					

事業名	全体実施設計
業務名	駅館川地区事業計画書(案)とりまとめ業務

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.6日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0		制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし		亜熱帯補正:なし
	2)打合せ	中間		基本給時間:8.0		超勤時間:0.0
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.600日				
R04004	技師(A)		人	59,600	65,560	
R04005	技師(B)		人	48,500	53,350	
	合計				118,910	算出数量 1,000回
	単価		回		118,910	
	*** S単-11号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,着手前・最終,通勤により打合せ,一般 交通機関,0日,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0		制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		豪雪補正:なし		亜熱帯補正:なし
	2)打合せ内容	着手前・最終		基本給時間:8.0		超勤時間:0.0
	3)主任技師配置人員	1人		深夜時間:0.0		
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	0人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.60日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	一般交通機関				
	11)高速道路往復料金(税別)	0円				
	12)鉄道往復1人当料金(税別)	18,836円				
	13)バス往復1人当料金(税別)	672円				
	14)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	0日				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54306	鉄道料金 消費税抜き		人	18,836	37,672	
P54307	バス料金 消費税抜き		人	672	1,344	
	合計				39,016	算出数量 1,000回
	単価		回		39,016	
	*** S単-12号 ***					
S63011	打合せ(設計旅費・交通費)		回		1,000	歩A 当たり算出
	打合せ(設計旅費・交通費) 一般工種・解析等調査業務,中間,通勤により打合せ,一般交通機関, 0日,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0		制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	1)設計工種	一般工種・解析等調査業務		豪雪補正:なし		亜熱帯補正:なし
	2)打合せ内容	中間		基本給時間:8.0		超勤時間:0.0
	3)主任技師配置人員	0人		深夜時間:0.0		
	4)技師A配置人員	1人				
	5)技師B配置人員	1人				
	6)技師C配置人員	0人				
	7)打合せ日数	0.50日				
	8)往復移動日数	0.60日				
	9)宿泊区分	通勤により打合せ				
	10)交通機関区分	一般交通機関				
	11)高速道路往復料金(税別)	0円				
	12)鉄道往復1人当料金(税別)	18,836円				
	13)バス往復1人当料金(税別)	672円				
	14)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	15)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	16)ライトバン使用日数	0日				
	18)宿泊料金1人当料金(税別)	0円				
	19)宿泊手当1人当料金(税別)	0円				
P54306	鉄道料金 消費税抜き		人	18,836	37,672	

事業名	全体実施設計					
業務名	駅館川地区事業計画書(案)とりまとめ業務					

業務別業務名:設計業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
P54307	バス料金 消費税抜き	2.000	人	672	1,344	
	合計				39,016	算出数量 1,000回
	単価		回		39,016	
	*** S単-13号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1,000	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1, A-4, 600, 8cm, 0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格区分	A-4		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)枚数区分(枚)	600		深夜時間:0.0		
	4)厚さ区分	8cm				
	5)CD-R枚数(枚)	0.000				
P43438	報告書焼付代(コピー) A-4以下 600枚	1.000	部	7,650	7,650	
P43543	簡易加除式ファイル A4縦型幅8cm(チューブ・パイプファイル)	1.000	冊	695	695	
P43602	CD-R CD-R(記録面色素フタロシアニン)700MB	0.000	枚	47	0	
	合計				8,345	算出数量 1,000式
	単価		式		8,345	

令和7年度 全体実施設計

駅館川地区事業計画書（案）とりまとめ業務

特 別 仕 様 書

九州農政局

北部九州土地改良調査管理事務所

第 1 章 総 則

(適用範囲)

第 1 - 1 条

令和 7 年度全体実施設計 駅館川地区事業計画書 (案) とりまとめ業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目 的)

第 1 - 2 条

本業務は、国営土地改良事業全体実施設計「駅館川地区」の実施にあたり、土地改良事業計画書 (案) の更新、土地改良事業計画概要書の作成、施設の予定管理方法等の作成、全体実施設計書の作成を行うものである。

(場 所)

第 1 - 3 条

本業務において対象とする位置は大分県宇佐市、杵築市、玖珠郡玖珠町地内で、別添位置図に示すとおりである。

(一般事項)

第 1 - 4 条

業務請負契約書及び共通仕様書に記載されない一般事項は、次のとおりである。

- (1) 業務実施の順序、方法等は監督職員と密接な連絡を取り、業務の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有するものとする。
- (3) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第 1 - 5 条

管理技術者は、共通仕様書第 1-6 条第 3 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学 農業－農村地域・資源計画 農業－農村地域計画
	農業	農業土木 農業農村工学 農村地域・資源計画 農村地域計画
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(照査技術者)

第 1 - 6 条

(1) 照査技術者は、共通仕様書第 1-7 条第 2 項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業土木 農業－農業農村工学 農業－農村地域・資源計画 農業－農村地域計画
	農業	農業土木 農業農村工学 農村地域・資源計画 農村地域計画
博士	当該業務に関連する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(2) 共通仕様書第 1-7 条第 4 項でいう、監督職員が指示する業務の節目とは、次のとおりとする。

- 1) 業務計画書作成時
- 2) 土地改良事業計画書（案）の更新時
- 3) 全体実施設計書の作成時
- 4) 成果品のとりまとめ時

(3) 当該業務の中で照査技術者は、管理技術者を兼務することはできない。

(担当技術者)

第 1 - 7 条

担当技術者は、共通仕様書第 1-8 条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第 1 - 8 条

共通仕様書第 1-11 条における業務組織計画の作成及び共通仕様書第 1-12 条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第 1 - 9 条

受注者は、共通仕様書第 1-37 条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(適用する図書)

第2-1条

業務の基本的事項に関しては、次の基準・指針等を優先して適用する。他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
農業農村整備事業計画作成便覧	農業農村整備事業計画研究会	平成15年8月
国営土地改良事業調査計画マニュアル	(社)農業土木事業協会	平成5年3月
国営土地改良事業計画書の記載方法	農林水産省	令和5年8月
その他関係法規、基準等		

(設計基本条件)

第2-2条

本業務の作業における基本条件は次のとおりである。

受益面積：5,488ha

事業構想：ダム（改修・耐震化対策）1式、頭首工（改修）1式

用水路（改修・耐震化対策）1式、水管理施設（改修）1式

(貸与資料)

第2-3条

貸与資料は次のとおりである。

	資 料 名	数 量
①	令和6年度 全体実施設計 駅館川地区施設計画等検討業務 報告書	1式
②	令和6年度 全体実施設計 駅館川地区用水計画策定等検討業務 報告書	1式
③	令和6年度 全体実施設計 駅館川地区ダム耐震対策基本設計業務 報告書	1式
④	令和6年度 全体実施設計 駅館川地区幹線用水路基本設計業務 報告書	1式
⑤	令和6年度 全体実施設計 駅館川地区日出生ダム放流設備他基本設計業務 報告書	1式
⑥	令和6年度 全体実施設計 駅館川地区営農計画及び経済効果等整理業務 報告書	1式
⑦	令和6年度 全体実施設計 駅館川地区受益面積等整理業務 報告書	1式
⑧	令和6年度 全体実施設計 駅館川地区環境調査その他業務	1式
⑨	令和5年度地区調査 駅館川地区事業計画書（案）とりまとめ業務 報告書	1式

また、上記以外に必要な資料がある場合は、監督職員と協議するものとする。

(適用する図書及び貸与資料の取扱い)

第2-4条

第2-1条、第2-3条に示す適用する図書及び貸与資料等の取扱いは次のとおりとする。

- (1) 適用する図書及び貸与資料の記載事項に相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 適用する図書は、設計作業時点の最新版を用い設計作業中に改訂された場合には、監督職員と協議するものとする。
- (3) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない。

(関連業務)

第2-5条

本業務と関連する他業務は次のとおりであり、監督職員及び関連業務の管理技術者と連携を密にして、互いに協調の図られた設計としなければならない。

業務名	業務実施期間
令和7年度全体実施設計 駅館川地区頭首工基本設計業務業務(仮称)	令和7年9月 ～令和8年3月(予定)
令和7年度全体実施設計 駅館川地区山中部導水路基本設計業務(仮称)	令和7年9月 ～令和8年3月(予定)
令和7年度全体実施設計 駅館川地区幹線用水路基本設計業務(仮称)	令和7年9月 ～令和8年3月(予定)
令和7年度全体実施設計 駅館川地区ダム付帯設備実施設計業務(仮称)	令和7年9月 ～令和8年3月(予定)
令和7年度全体実施設計 駅館川地区経済効果算定等業務	令和7年4月 ～令和8年3月
令和7年度全体実施設計 駅館川地区3条資格者整理等業務	令和7年4月 ～令和8年3月

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は【別紙1】設計作業項目内訳表に示すものとする。

【設計作業項目表】

作 業 項 目	数 量	備 考
1. 準備作業	1式	
2. 土地改良事業計画書(案)の更新	1式	
3. 土地改良事業計画概要書の作成	1式	
4. 施設の予定管理方法等の作成	1式	
5. 全体実施設計書及び添付資料の作成	1式	
6. 業務照査	1式	
7. 点検とりまとめ	1式	

(設計作業の留意点)

第3-2条

設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-1条、第2-3条及び共通仕様書に示す適用する図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 業務履行中において、一部成果物の提出を求めることがあるが、受注者はこれに協力するものとする。
- (4) 共通仕様書第1-11に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないものとする。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4-1条

共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ(土地改良事業計画書(案)とりまとめ段階)

第3回 中間打合せ(全体実施設計書添付資料作成段階)

第4回 中間打合せ(全体実施設計書とりまとめ段階)

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式からWeb方式に変更する場合がある。

第5章 成果物

(成果物)

第5-1条

成果物を共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- 1 成果物の電子媒体(CD-R若しくはDVD-R)正副2部
- 2 成果物の出力 1部(電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)

(成果物の提出先)

第5-2条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

大分県宇佐市大字石田43-1

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所 駅館川支所

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は次のとおりとする。

- (1) 第2-2条に示す「設計基本条件」に変更が生じた場合
- (2) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
- (3) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- (4) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (5) 履行期間の変更が生じた場合
- (6) 関係機関等対外的協議により業務計画等に変更が生じた場合
- (7) その他

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7-1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙1】設計作業項目内訳表

作業項目	作業内容	作業実施欄
1. 準備作業		—
1-1. 資料の検討	貸与資料等を整理・把握し、本業務実施のための作業計画を樹立する。	1式
2. 土地改良事業計画書(案)の更新	<p>過年度とりまとめた土地改良事業計画書(案)及び土地改良事業計画書(案)補足説明資料について、本業務の全体実施設計書のとりまとめ成果及び関連業務の成果を反映し、以下の章について更新を行う。</p> <p>第3章 現況 第4章 一般計画 第5章 主要工事計画 第8章 環境との調和への配慮 第9章 事業費の総額及び内訳 第10章 効用 第12章 現況・計画図面</p>	1式
3. 土地改良事業計画概要書の作成	2の成果を基に土地改良事業計画概要書を作成する。	1式
4. 施設の予定管理方法等の作成	過年度業務の成果を基に施設の予定管理方法等、事業費の負担区分の予定及び地元負担の予定基準を作成する。	1式
5. 全体実施設計書及び添付資料の作成		—
5-1. 全体実施設計書の成	<p>全体実施設計書の添付資料を基に以下の資料を作成する。</p> <p>(1) 事業概要表 1) 事業概要表 2) 計画一般平面図</p> <p>(2) 主要構造物設計調書 1) 設計調書及び標準図 2) 工事の施工年度割予定表</p> <p>(3) 事業費総括表 1) 工事費明細書</p> <p>(4) 添付図 1) 一般計画平面図 2) 主要構造物設計図</p>	1式

作業項目	作業内容	作業実施欄
5-2. 全体実施設計書添付資料の作成	<p>全体実施設計書の添付資料として、過年度業務の成果及び関連業務より資料を収集し、以下の資料のとりまとめを行い、全体実施設計書添付資料の作成を行う。</p> <p>I. 事業概要表 (1) 事業概要表 (2) 計画一般平面図</p> <p>II. 工事の実施計画 第1章 主要構造物及び施設概要 第2章 施設の実施設計 第3章 工事の施工年度割計画</p> <p>III. 工事費明細書及び数量計算書 第1章 工事費総括表 第2章 工事費明細書 第3章 単価表 第4章 数量計算書</p> <p>IV. 添付図面 第1章 一般計画平面図 第2章 主要構造物</p>	1式
6. 業務照査	<p>照査計画に基づき、業務の節目毎（4回）に照査を実施し、照査報告書の作成を行う。 業務の節目は次のとおりとする。</p> <p>1) 業務計画書作成時 2) 土地改良事業計画書（案）の更新時 3) 全体実施設計書の作成時 4) 成果品のとりまとめ時</p>	1式
7. 点検とりまとめ	<p>各作業項目の成果物の点検及びとりまとめを行い、報告書を作成する。</p>	1式

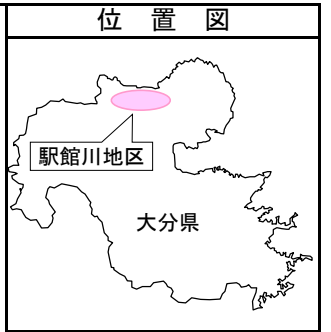
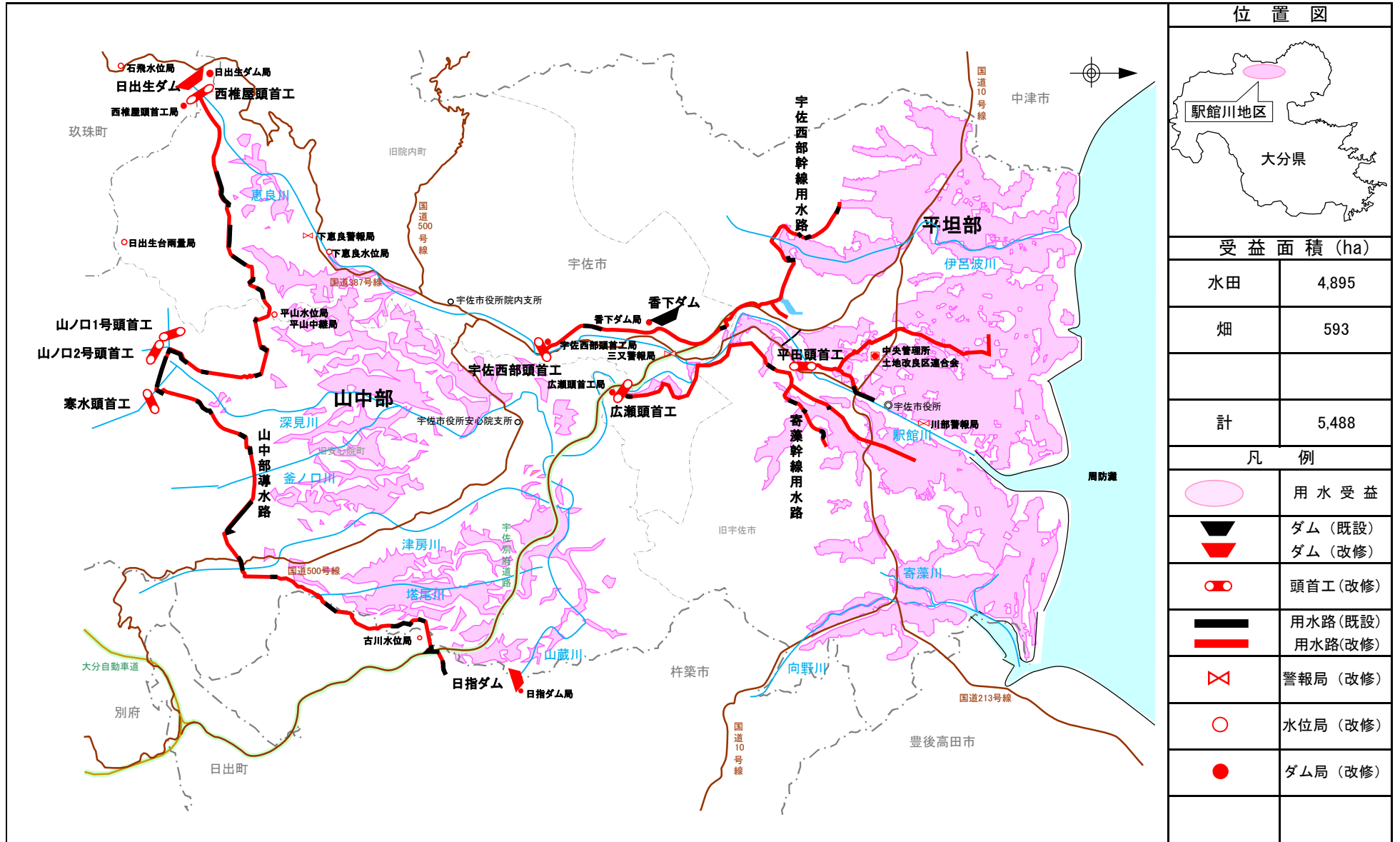
令和7年度 全体実施設計

駅館川地区事業計画書（案）とりまとめ業務

図 面 目 録

番号	図 面 名 称	枚数	備考
1	位置図	1	
計		1	

令和7年度全体実施設計 駅館川地区事業計画書（案）とりまとめ業務 位置図



受益面積 (ha)	
水田	4,895
畑	593
計	5,488

凡 例	
	用水受益
	ダム (既設)
	ダム (改修)
	頭首工 (改修)
	用水路 (既設)
	用水路 (改修)
	警報局 (改修)
	水位局 (改修)
	ダム局 (改修)

図面名称	図面番号
位置図	1